

会 議 録

1 会議名

令和元年度 第2回頸城区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 協議事項（公開）

○令和元年度頸城区地域活動支援事業について
（提案事業プレゼンテーション）

(2) 報告事項（公開）

○「地域を元気にするために必要な提案事業」の経過報告

(3) その他

3 開催日時

令和元年5月22日（水）午後6時00分から午後9時15分まで

4 開催場所

頸城コミュニティプラザ 2階 203会議室

5 傍聴人の数

2人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・ 委員：井部辰男（会長）、関川正平（副会長）石野敏、上村闔一、笠原昇治、佐藤学、佐野喜治、滝本篤透、西巻肇、芳賀芳明、橋本博太、船木貴幸、望月博、山本光夫、山本誠信、横山一雄（委員16人中16人出席）
- ・ 事務局：頸城区総合事務所 橋立所長、田村次長、小山市民生活・福祉グループ長、稲田教育・文化グループ長、総務・地域振興グループ武内班長、渡邊班長、田中主査、古川主任（以下グループ長はG長と表記）

8 発言の内容

【田村次長】

- ・ 会議の開催を宣言

【井部会長】

- ・挨拶

【田村次長】

- ・委員の欠席なし
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・会議録の確認：佐藤委員、佐野委員に依頼

【井部会長】

協議事項「令和元年度頸城区地域活動支援事業について」募集状況を報告し、プレゼンテーションの実施方法について事務局に説明を求める。

【古川主任】

プレゼンテーションの進め方について説明

【井部会長】

- ・事務局の説明について質疑を求めるがなし。
- ・No.1「中部農道等景観整備事業」について審査を開始
- ・審査を辞退する委員に退席を求める。
- ・提案団体に事業の説明を求める。

【提案団体】（くびき 花の会）

No.1「中部農道等景観整備事業」について提出資料をもとに説明

【井部会長】

- ・委員に質疑等を求める。

【笠原委員】

皆さんの活動と目的は素晴らしいが、雑草のためせっかく植えた花も死んでしまう。あやめを植えた所もあるがそういう花にしないのか。

【提案団体】（くびき 花の会）

あやめの扱いはなかなか難しい。株分け等をしなくてはいけない。一度咲くと翌年同じ所から咲かないで外側へと咲いていくのでその点が難しい。

サルスベリは、矮性の物だと今後管理しやすいということで選んだ。

【井部会長】

- ・他に質疑等を求めるがなかったので、審査を終了
- ・No.2「2020年カレンダー作成事業」について審査を開始

- ・ 審査を辞退する委員に退席を求める。
- ・ 提案団体に事業の説明を求める。

【提案団体】（大坂井写真クラブ）

No.2 「2020年カレンダー作成事業」について提出資料をもとに説明

【井部会長】

- ・ 委員に質疑等を求める。

【佐野委員】

質問16まで順番にお答えいただきたかった。

カレンダーというより冊子と言われたが、タイトルはカレンダー作成となっている。

【提案団体】（大坂井写真クラブ）

冊子型のカレンダーということでご理解いただきたい。

日めくりという意味ではなく、月々の一押し景色や地域の行事などを知っていただくことが目的である。

講師として考えているのは、花の会やお馬出しプロジェクトにも参加している増田さんから来ていただきたいと思っている。どちらかという写真を美しく撮るというよりも、地域を楽しく活性化するためお互いに勉強しながら、大坂井の楽しさを発信できたらと思っている。

【井部会長】

- ・ 他に質疑等を求める。

【佐藤委員】

質問2番・4番・6番の配布部数に関しての根拠は何か。

【提案団体】（大坂井写真クラブ）

先ほど発表したように、大坂井振興会の戸数約170～180戸に配布する。

【佐藤委員】

見積りが300部であるが、この差は何か。

【提案団体】（大坂井写真クラブ）

一戸一冊というよりも農家民宿されている人に配ったり、親戚等に配ったりする。

【井部会長】

- ・ 他に質疑等を求める。

【船木委員】

農家民宿というのは初耳だが、なんという名前か。大坂井の伝統行事は何か。

【提案団体】（大坂井写真クラブ）

大坂井の伝統行事というよりも必ず地域には春の祭りや秋の祭りがある。

農家民宿は4月に開設された「百姓本舗」である。

【井部会長】

- ・他に質疑等を求める。

【滝本委員】

景色の楽しさや地域の資源を写真として残して皆さんに伝えたいと言われた。しかし、配布は大坂井地区だけであり、頸城区民にはどう発信するのか。

【提案団体】（大坂井写真クラブ）

頸城区民には、メンバーの中にフェイスブック等のSNSを4人ほど利用しているので、いろんなことを通じて発信したいと思っている。大坂井地区だけを対象にしているわけではないので、欲しい方には部数がある限り配布したい。

【井部会長】

- ・他に質疑等を求めるがなかったので、審査を終了
- ・No.3「雁金城跡及びその周辺の史跡の保存、整備とPR併せ会員の知識の向上事業」について審査を開始
- ・審査を辞退する委員に退席を求める。
- ・提案団体に事業の説明を求める。

【提案団体】（雁金城跡保存会）

No.3「雁金城跡及びその周辺の史跡の保存、整備とPR併せ会員の知識の向上事業」について提出資料をもとに説明

【井部会長】

- ・委員に質疑等を求める。

【佐藤委員】

減額されても事業を実施するか。

【提案団体】（雁金城跡保存会）

減額される場合は、事業を縮小しても継続したいと思っている。

【関川副会長】

歴史講演会の区民への周知について聞きたい。

【提案団体】（雁金城跡保存会）

上越タイムスを通じての周知や、くびき振興会便りもあるので積極的に利用したい。

【上村委員】

登山口を2つ持たなければいけない理由はあるのか。

【提案団体】（雁金城跡保存会）

元々地域の方々が簡単に登ったりしている所を登りやすくするためである。

【上村委員】

昔から登っていたからそこを活かすというのはなかなか厳しい。今後は1本の登山道をしっかり整備した方がよいのではないか。

【笠原委員】

質問12の中でパンフレットが一部110円もするが、くびき振興会のカラーコピーを利用するという事は考えていないのか。

【提案団体】（雁金城跡保存会）

今年は、くびき振興会でコピーさせていただく予定である。

【井部会長】

- ・他に質疑等を求めるがなかったので、審査を終了
- ・No.4「いきいき人生（爺婆）笑って元気事業」について審査を開始
- ・審査を辞退する委員に退席を求める。
- ・提案団体に事業の説明を求める。

【提案団体】（公民館明治分館協議会）

No.4「いきいき人生（爺婆）笑って元気事業」について提出資料をもとに説明

【井部会長】

- ・委員に質疑等を求める。

【佐野委員】

事前質問が13項目あるので、1番から簡単に触れていただきたい。

【提案団体】（公民館明治分館協議会）

- ・質問1：購入したパソコンは、ポスター、チラシ、運行予定表等を作成するため、毎月1～2回もしくは月3～4回使用している。
- ・質問2：購入したDVDについては、町内会へ貸し出しも行っている。
- ・質問3：昨年の反省を踏まえ、町内会長を通じて参加者を少しずつ広げていきたい。

- ・質問４：今年度も４月から実施しており、参加人数は２０名だった。
- ・質問５・９・１０：受益者負担については、今後も検討していきたい。
- ・質問６：１年間活動した評価、改善点については、発表した内容のとおりである。
- ・質問７：頸城区内の明治分館以外からの意見交換等の依頼については、昨年度第１回ケア会議で活動内容を発表した。
- ・質問８：平成３０年度の実績については、登録した人が全員で２７名。平均参加が約１５名で多い時は２２名だった。
- ・質問１１：ＤＶＤは視聴覚ライブラリーの貸出を利用し、購入したＤＶＤはみんな鑑賞しながら学習している。
- ・質問１２：備品は貸出等もしており、地域の皆さんと活用している。
- ・質問１３：参加者は、関係町内会長に総会でも話をしており、できるだけ多くの人に参加していただけるような働きかけをしていきたい。

【井部会長】

- ・他に質疑等を求める。

【橋本委員】

今ほどの回答の中で、受益者負担について今後検討したいということだが、今年から実施されるか。

【提案団体】（公民館明治分館協議会）

今年から検討していくということで考えている。

【橋本委員】

今回、申請している金額も変更されることでよいか。

【提案団体】（公民館明治分館協議会）

変われば変わったなりに対応したいと思っている。

【井部会長】

- ・他に質疑等を求めるがなかったなので、審査を終了
- ・No.５「くびき野レールパーク公開及び排水工事事業」について審査を開始
- ・審査を辞退する委員に退席を求める。（笠原委員、船木委員 退席）
- ・提案団体に事業の説明を求める。

【提案団体】（NPO法人くびきのお宝のこす会）

No.５「くびき野レールパーク公開及び排水工事事業」について提出資料をもとに説

明

【井部会長】

- ・委員に質疑等を求める。

【橋本委員】

お答えいただいた事前質問等に関する部分が、途中までで時間がきてしまったので、残りの部分をこの質疑の時間でお答えいただきたい。

【提案団体】（NPO法人くびきのお宝のこす会）

カップルは頸城自動車(株)の物なので私たちが単独にどうするということはできないので、頸城自動車(株)と十分話をする必要がある。それ以外の車両は上越市の物で市と相談をしながら、活用していく方法を考えなければいけない。

質問7の保存活動資金の全国発信については、今後線路を延ばせないかという話がある。線路を延ばすためのレールは一応あるが、土地や線路を延ばすとすると東側になるが、延ばすためにどうしたらいいのかなど各方面と相談していかなくてはならない。

頸城鉄道で使っていたラッセル車が、現在千葉県成田市のゆめ牧場にある。その車両をこちらに持ってきてはどうかという声もあるが、資金が必要である。クラウドファンディング、インターネット等を使ってこの目的のためにお金を出してくださいという方法も考えていく必要がある。

【石野委員】

質問1で機関庫を納めている所からの排水ではなく、入らないための排水なので油は混じる心配はないという説明を受けたがそういう理解でよいか。

【提案団体】（NPO法人くびきのお宝のこす会）

前提はそうではない。

現在は車庫の方が低く、周りの土地の方が高い。車庫の周りに排水溝とパイプが作られているが、非常に能力が低くて大雨が降ると屋根に降った雨やまわりに降った雨が全部車庫の中に入ってきてしまう。そのため車庫が水浸しになる。場合によっては点検しているキットがあるが、その中にも全部水が溜まるという状況。多少油が入ることはあるが、排水がうまくいかないために自然に地下にしみ込むような状況になっている。

屋根の雨水、外で降った水をすぐに用水の方に流せるようにしたい。

【石野委員】

雨水の侵入を防ぐために外の方に側溝を掘るので、油や不純物が入ったものは側溝に流れないということが前提ということでしょうか。

【提案団体】（NPO法人くびきのお宝のこす会）

そのように想定している。

【石野委員】

資料の支出の部の4番、軌道改良工事となっているが、これは排水溝設置工事の間違いではないのか。

【提案団体】（NPO法人くびきのお宝のこす会）

軌道改良工事というのはレールを随時直していくという工事で、主に古くなって腐食した枕木交換を行っている。

【石野委員】

見積書の41万400円。中央設備の工事名称がU字溝設置工事になっている。支出の④のタイトルが軌道改良工事で、内容も排水溝設置工事の中身ではないのか。

【提案団体】（NPO法人くびきのお宝のこす会）

イベントを開催するためには、レールの保守点検が必要である。U字溝設置工事とあわせての軌道改良工事というように考えていただきたい。

【井部会長】

- ・時間になったので審査を終了
- ・No.6「学校へ徒歩通学している町内の通学路（市道）の防犯灯設置事業」について審査を開始
- ・審査を辞退する委員に退席を求める。
- ・提案団体に事業の説明を求める。

【提案団体】（青野・北方・五十嵐・宮本町内連合会）

No.6「学校へ徒歩通学している町内の通学路（市道）の防犯灯設置事業」について提出資料をもとに説明

【井部会長】

- ・委員に質疑等を求めるがなかったので、審査を終了
- ・No.7「くびき昔々物語 大池・小池の話」紙芝居製作による伝承・普及事業」について審査を開始

- ・ 審査を辞退する委員に退席を求める。
- ・ 提案団体に事業の説明を求める。

【提案団体】（読み聞かせサークル ワンダーランド）

- ・ No.7 「くびき昔々物語 大池・小池の話」紙芝居製作による伝承・普及事業」について提出資料をもとに説明
- ・ 審査を辞退する委員に退席を求める。
- ・ 提案団体に事業の説明を求める。

【井部会長】

- ・ 委員に質疑等を求める。

【船木委員】

質問10について、サークルの皆さんが紙芝居をすることに意味があるので、紙芝居を作って配布もするということだが、実際役に立ててもらえるものか。

【提案団体】（読み聞かせサークル ワンダーランド）

保育園では絵本を保育士が読んでくれる。

【佐野委員】

紙芝居を30セット配布すると言われたが、大越さんが30人いたら安心だが、保育士や学校の先生は、大越さんほどの技量があるという信頼を持っていて大丈夫か。

図書館などに置くということは倉庫に格納してそれで終わりということにならないか。

【提案団体】（読み聞かせサークル ワンダーランド）

図書館、学校、保育園には、技量を持ったお話の上手な方がたくさんいる。私たちのメンバーには、学校の先生や保育士もいるので全て可能であると把握している。

【石野委員】

質問1の大池まつりでの披露についてお答えいただきたい。

【提案団体】（読み聞かせサークル ワンダーランド）

くびき振興会に、今年から大池まつりに参加したいと話を通して。

【石野委員】

このスケジュールからすると9月の大池まつりには間に合わないと思い、今年は無理なら来年是非という質問だったが。

【提案団体】（読み聞かせサークル ワンダーランド）

間に合わなければ、来年はその紙芝居を使うが、今年はイベントで他の話をやらせていただこうと思っている。来年は紙芝居ができるから期待しているというPRができたらと考えている。

【望月委員】

30セット作るということだが、頸城区の小・中学校、保育園で残りは少ないような気がする。もう少し多くしたほうがいいのではないか。

大池・小池の話の他に古民家が頸城区に2か所ある。将来的には昔話か紙芝居になるのかわからないが残していただけないか。

【提案団体】（読み聞かせサークル ワンダーランド）

部数は区内の小学校、保育園、高田、直江津、頸城、浦川原図書館、名立の図書館、県立図書館に置くことを考えている。1冊ずつではないので、ほぼはけてしまう。

古民家に関してはこの提案が通った後、改めて考えさせていただく。

【井部会長】

- ・時間になったので審査を終了
- ・No.8「頸城区民のための文化振興事業」について審査を開始
- ・審査を辞退する委員に退席を求める。（望月委員 退席）
- ・提案団体に事業の説明を求める。

【提案団体】（くびき文化協会）

No.8「頸城区民のための文化振興事業」について提出資料をもとに説明

【井部会長】

- ・委員に質疑等を求める。

【橋本委員】

希望館での収容人員は約450人。見積もりの中にチラシの印刷5,000枚とあるがどこに配るのか。そんなに配っても入りきれない。

【提案団体】（くびき文化協会）

毎回チラシを約3,000枚各戸に配布している。また、各団体にも配布しており、今回この数を出したわけではなく、過去もこの数である。

今年、新潟県は国民文化祭と全国障害者芸術文化祭の開催地ということもあり、併せてPRも大きくしたいと思っている。

【橋本委員】

もし5,000枚配布して大勢来たら抽選になるのか。

【提案団体】（くびき文化協会）

入場者については整理券を出している。昨年、多く来られたが1,000枚も2,000枚も整理券を作るわけではないので、入場者については調整できていると思っている。

【石野委員】

質問票は見ているか。

【提案団体】（くびき文化協会）

私の手元に届いていない。

【石野委員】

質問1に限らず、他の質問でも6割は受益者負担の検討であり、昨年もプレゼンの時に質問があったと思う。具体的に言うと総予算710万の4分の1をほぼこの事業に使い、それも1日限定で終わってしまうものである。受益者負担を検討するタイミングではないかと考えるがいかがか。

【提案団体】（くびき文化協会）

毎回受益者負担、入場料等についてはご指摘をいただいている。今回は長崎県の障害者の太鼓チームであり、太鼓の運搬や輸送料金が多くかかるが、頸城区を中心とした人たちに身近な所で鑑賞してもらいたいという思いがある。

【井部会長】

・他に質疑等を求める。

【佐藤委員】

来場者の対象は、頸城区民で限定されるのか、それとも頸城区外もよいのか。

【提案団体】（くびき文化協会）

例年、頸城区民を中心に案内するが、頸城区外の入場も想定している。

【井部会長】

- ・他に質疑等を求めるがなかったなので、審査を終了
- ・No.9「白田邸環境整備等事業」について審査を開始
- ・審査を辞退する委員に退席を求める。（笠原委員、船木委員 退席）
- ・提案団体に事業の説明を求める。

【提案団体】（白田邸保存会）

No.9「白田邸環境整備等事業」について提出資料をもとに説明

【井部会長】

- ・委員に質疑等を求める。

【関川副会長】

提案の中に門扉新設となっている。門扉というのは、元々あって老朽化したので新しくするという意味なのか。

【提案団体】（白田邸保存会）

門扉は経年で壊れてしまい、今は空いている状態。併せて中庭も改修して見ていただくような場所にしたいと思っている。今まであったものを再興したいと考えている。

質問1の補足で、保存会で工夫をしたらどうかということだが、支障木で高い杉の頭を切り落とすこととしている。素人では危険なため業者をお願いするが、紅葉を植える等の作業は会員で行っている。

質問5の藤井さんについては、下越地域で新潟庭園街道の副代表をされていて村上市の吉川さんと組まれて、国道を利用して庭園と旅館を広域で結ぶための発起人の一人である。ご自身で庭屋一如研究会を主宰し、古民家の庭園や建物についての説明ガイドをされている。

質問4のイメージとしては、稲田の保阪邸で古い建物を利用したコスプレイベントをやった。今後白田邸や瀧本邸、坂口記念館等と連携していけたらという話を進めている。

【西巻委員】

発足当初もお伺いしたが、構成員の中に地元の人々の参加はあるのか。

【提案団体】（白田邸保存会）

会員は、26名でほとんど地元の人たちで構成している。

【井部会長】

- ・他に質疑等を求めるがなかったため、審査を終了
- ・No.10「頸城区を吹奏楽の演奏で活気づける事業」について審査を開始
- ・審査を辞退する委員に退席を求める。
- ・提案団体に事業の説明を求める。

【提案団体】（頸城中学校後援会）

- ・No.10「頸城区を吹奏楽の演奏で活気づける事業」について提出資料をもとに説明

【井部会長】

- ・委員に質疑等を求める。

【佐野委員】

事前質問が16あるが、今のプレゼンで大枠答えたという理解でよろしいか。

楽器が壊れるというのは日頃のメンテナンスがうまくないという状態ではないか。プロに任せないとメンテナンス自体がうまくできないのか。何年か楽器の購入が続き、これで最後かという質問をしたら最後とお答えになった。人が変われば話が違ってくるという話なのか。

【提案団体】（頸城中学校後援会）

最後の質問は承知していなかった。ただ実状は非常に厳しい状況であるということで再度お願いしたい。

最初の質問の生徒のメンテナンス、使い方が悪いのではないかという質問については、確かにそれもあると思う。メンテナンスの仕方や手入れの仕方はしっかり指導しているが、中学生なので壊してしまったり、破けてしまったりということもある。

学校の部活動を中心に使っている楽器なので、プロがきめ細やかに使っている状態とは違う。一般論で学校の楽器の寿命は10年と言われている。

私も吹奏楽の顧問をしていたので毎年楽器屋に点検してもらったが、丁寧に使っても毎年20万円はかかる。ここの学校より少し規模が小さい学校だったが、市からの予算は期待できないので、あとは子供から集めるしかない状況であった。

【井部会長】

- ・他に質疑等を求める。

【横山委員】

以前、関東吹奏楽コンクールへ行った経緯がある。今の吹奏楽部はどうなのか。年4・5回の演奏で頸城区を元気にできるのか。他の所はいろいろな演奏会をやっているが、頸城中学校は少し足りないと思うがどう考えているか。

【提案団体】（頸城中学校後援会）

コンクールは現在も行われている。7月下旬に上越文化会館で行われる予定。昨年も頸城中学校は大会で金賞をいただいております、今年も出場する予定である。

地域への演奏活動が少ないのではとのご指摘があったが、なるべくいろいろな機会をいただいで出演したいと考えている。

昨今の様々な事情、各家庭の事情等、昔と違い部活動をするのが難しい状況であ

る。行けない生徒が多いと吹奏楽はチームなので演奏ができなくなる。もう一つは教員、指導者の不足もあると思われる。

【船木委員】

先回、楽器を購入された時に要望があれば演奏に行くと言ったので、実際お願いをしたことがある。その際、楽器の輸送費をお願いされて結構高額だったので、そこまでお金を払えないのでお断りした。

【提案団体】（頸城中学校後援会）

今年度、青少年育成会議など学校を支援して下さる団体から、楽器の輸送費をいくらかお願いしている。予算に限りがあるので学校のお金の中で難しくなってくるということはあるかもしれない。トラックを借りると1台約2万円近くになる。

【井部会長】

- ・時間になったので、審査を終了
- ・No.1 1 「頸城区のスポーツ振興事業」について審査を開始
- ・審査を辞退する委員に退席を求める。
- ・提案団体に事業の説明を求める。

【提案団体】（頸城中学校後援会）

No.1 1 「頸城区のスポーツ振興事業」について提出資料をもとに説明

【井部会長】

- ・委員に質疑等を求める。

【上村委員】

事務局は支援事業の採択方針をご存知か。

【提案団体】（頸城中学校後援会）

書面をいただいている。

【上村委員】

採択条件の目的というのは、頸城区の皆さんが自主的に物事をやって頸城区を元気にする事業。そういう理解からすると外れているのではないか。なぜ後援会を利用して出すのか。頸城中学校で出せないのか。行政が義務教育という施設を持って、義務教育の方針があるのにそこで蹴られたものをなぜここへ出してくるのか。

【提案団体】（頸城中学校後援会）

頸城中学校の教職員も後援会のメンバーという位置づけで、中学校としてお願いし

ている面もあるが、後援会としてお願いをさせていただいている。市から蹴られてしまった申請が通らなかったものを何とかしたいという気持ちがある。

【横山委員】

希望館のテニスコートがあるなかで、この地域で学校のテニスコートを使用するほどテニスを愛好する人は少ないと思う。

【提案団体】（頸城中学校後援会）

学校として何ができるか、しっかり考えて最大限やらせていただきたい。部活を頑張る子供もいるので、子供たちを応援していきたい。

【井部会長】

- ・時間になったので審査を終了
- ・No.1 2「坂口記念館を拠点とした「くびきの地力（ちぢから）」活性化推進事業（継続事業）」について審査を開始
- ・審査を辞退する委員に退席を求める。（笠原委員 退席）
- ・提案団体に事業の説明を求める。

【提案団体】（特定非営利活動法人くびき来夢ネット）

No.1 2「坂口記念館を拠点とした「くびきの地力（ちぢから）」活性化推進事業（継続事業）」について提出資料をもとに説明

【井部会長】

- ・委員に質疑等を求めるがなかったので、審査を終了
- ・No.1 3「冬期区民スポーツ大会開催事業」について審査を開始
- ・審査を辞退する委員に退席を求める。（滝本委員 退席）
- ・提案団体に事業の説明を求める。

【提案団体】（頸城体育協会）

- ・No.1 3「冬期区民スポーツ大会開催事業」について提出資料をもとに説明

【井部会長】

- ・委員に質疑等を求めるがなかったので、審査を終了
- ・No.1 4「健康増進普及事業（バスハイク&トレッキング）」について審査を開始
- ・審査を辞退する委員に退席を求める。（滝本委員 退席）
- ・提案団体に事業の説明を求める。

【提案団体】（NPO法人ユートピアくびきスポーツクラブ）

- ・「健康増進普及事業（バスハイク&トレッキング）」について提出資料をもとに説明

【井部会長】

- ・委員に質疑等を求めるがなかったので、審査を終了
- ・引き続き、No.15「地域住民の健康づくりと高齢者の健康増進対策事業」について審査を開始

【提案団体】（NPO法人ユートピアくびきスポーツクラブ）

No.15「地域住民の健康づくりと高齢者の健康増進対策事業」について提出資料をもとに説明

【井部会長】

- ・委員に質疑等を求める。

【佐藤委員】

ここに書いてある高齢者とは何歳以上を対象にしているのか。

【提案団体】（NPO法人ユートピアくびきスポーツクラブ）

基本的には65歳以上で考えている。

【船木委員】

少なくとも講師謝礼は受益者負担で、参加費を若干上げるという考えはないか。

【提案団体】（NPO法人ユートピアくびきスポーツクラブ）

昨年度、独自で教室をやり、参加費は2,500円と設定して実施した。一般で参加される方は意識が高いので参加費を払うことに抵抗はない。しかし、医師から紹介された人を受け入れる場合、参加費がネックになっていたため、今回金額は抑えた形で実施し、来年度から意識を上げるような金額で設定したい。

【佐野委員】

「高齢者を元気にする出張教室」は、30～40名で30分程度の設定でやっていただけのようなものか。

【提案団体】（NPO法人ユートピアくびきスポーツクラブ）

各老人クラブの事務局と相談して設定時間については、プログラムと合わせて組みたい。要望やリクエストに応じて講師を派遣する予定なので可能である。

【井部会長】

- ・他に質疑等を求めるがなかったため、審査を終了
- ・No.16「頸城区の若者の繋がりを強化し、地域の活力とする事業」について提出資

料をもとに説明

【井部会長】

・委員に質疑等を求める。

【笠原委員】

提案されている方の出身地はどこか。

質問3にもあるように区内のイベントが多々あるが、そういう所に顔を出しながら、若者の繋がりを持って行くというのは常套手段だと思う。また、年何回ぐらい集まっているか。

【提案団体】（GO一縁）

私たちは糸魚川市出身。今日は代表が急ぎょ仕事でどうしても来られないのでメンバーとして今回説明に伺った。

GO一縁会のメンバーは、現役で働いている世代なので、できるだけ区内のイベントや若者の繋がりがあるイベントには参加しようと努力している。

活動が見えてこないということだが、昨年度は上越市内の若者が集まり、上越市の課題や解決を語り合うというのを3回行った。10人前後の参加で男女比率7対3、30～40代の男女。真剣に上越の将来を考えることができたこと、大勢でいろんな角度から課題を共有する事の重要性を再認識した。

今の世代なのでメールやラインで全員集まるというより、インターネットでのやりとりもできるので、全体で集まった時は、大池まつりのトートバック作りでメンバーがかなり参加した。

【佐野委員】

事前質問が14件あり、プレゼンで触れたところもあると思うが、頸城区出身ではないということでお答えできないのか。

【提案団体】（GO一縁）

質問については、事前にメンバーの中で承知している。

質問1の団体名変更については先ほど説明した通り。

質問2の備品が完備するまでの予算については、自己紹介に使うメモをとるバインダーである。ネームケース、時間を測るタイマー、ベルなどで3万円程度。今年度の予算で完備すると考えている。

チラシ、広告についてはお見合いパーティーなのでこれから作成して公共機関など

人目の付く場所に設置する予定。

減額されても実施するかについては、減額される金額にもよるが減額後の金額で可能であれば実施する。

活動主体として、婚活イベントはすぐに結果が出るものではないので、継続的に実施したいと考えている。

構成員の増員の見込みについては区内に限らず仲間を増やしたいと思っているが、メンバー全員が現役で働いていることもあり、SNSで情報発信をしてできるだけ増やしていきたい。

受益者負担の方針については、飲食費、ハーバリウムなどの材料費などは自己負担ということは承知している。参加費で飲食費と材料を賄うように予算計上している。

【船木委員】

質問11～13の説明をしていただきたい。

【提案団体】（GO一縁）

・質問11：婚活を切り口にした理由は、独身の若者は職場以外での繋がりが薄いので、まずは婚活を通じて繋がりを強化し、その先に自然や郷土をPRしていく活動が広がっていくと思っている。

・質問12：頸城区のパンフレットを活用することによって頸城区の魅力をPRし、頸城区に興味を示してもらおう。

・質問13：市内だけではなく、市外から特に女性の呼び込みを期待したいと思っている。

【船木委員】

頸城区のことをPRするということだが、現役世代を理由に頸城区のイベントに全く参加されていないが、どうやって頸城区の良い所を発信できるのか。

【提案団体】（GO一縁）

全く参加していないわけではない。イベントでトートバック作りに参加した。頸城区のPRというのは、例えば坂口記念館など頸城区の情報が載っている観光パンフレットなどを参加者に必ず持って帰っていただくことで、頸城区の魅力を知っていただくのも可能だと思う。

【井部会長】

・時間になったので、審査を終了

・報告事項「地域を元気にするために必要な提案事業」の経過報告について、事務局に説明を求める。

【田村次長】

・事務局より説明

【井部会長】

・委員に質疑等を求めるがなし

【田村次長】

・次回の協議会：6月中旬としたい

・詳しい日程については、この後の全員協議会で決めることとさせていただきたい。

【井部会長】

・委員に質疑等を求めるがなし

・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

頸城区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL：025-530-2311（内線 212）

E-mail：kubiki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。